

## 武田 典久 議員



### 一問一答方式

- ①大洲市地域強靱化計画
- ②ICTの活用
- ③子育て支援

### 大洲市地域強靱化計画について

**問** 本市は地域強靱化計画を本年3月に策定した。全国でも50市ほどしか制定していないもので、早期策定に感謝申し上げたい。

政府は強靱化対策を推し進めることで、地域の活性化につながると示唆しているが、具体的に本計画において、それが確認できる取り組みがあれば教えていただきたい。

**答** 自治会等による防災計画の策定や防災訓練の実施を推進するこ

とは、地域コミュニティ力の向上につながるものと考えられ、災害時に避難路や物資の輸送道路となる自動車道等の基幹道路の整備は、平常時には物流や観光等に利用され、交流人口の拡大や経済活動の活性化にもつながります。

また、治山事業による災害防止対策や間伐等による森林の保全管理、また、漁業施設の長寿命化は、農林水産業の維持・発展にも寄与するなど、万が一のリスクに備えるための取り組みが、平常時においても生活や生産基盤の安定・充実をもたらす、結果として地域活性化に貢献するものであると認識しています。

### ICTの活用について

**問** 本市では、財政改善のため職員数を絞ってきたことに加え、近年複雑化する地域課題や多様化する市民ニーズ等への対応のため、職員に負担を強いていると認識している。さらに、今後5年先を見通すと人口減少により職員確保も困難になるが、そのときには、シニアや女性など埋もれた人材の有効活用と同時

に、ICTを使って効率化を図り、生産性を高めることが必要である。そこで、今年度ICTを活用した具体的な事業はあるのか。

**答** 現在取り組んでいる事業としては、庁内ではクラウドサービスによる全庁でのGISの利活用、庁外では図書館の図書貸し出し・予約などのほか、地方税の申告手続、電子入札、子育てワンストップサービスの各種手続など、自宅や会社からオンラインで手続を行える事業を実施しています。

なお、市民の皆様が市役所での手続で使う申請様式等についてもホームページ上で提供するなど、今後とも積極的に電子化を進め、迅速・効率化を図っていきます。

また、オープンデータ化されたデータも、ホームページ上に掲載することで、民間での事業展開などへの活用を視野に整備を推進していきたいと考えています。

### 子育て支援について

**問** 本市でも核家族化の進行や共働き家庭の増加、地域コミュニティ

の希薄化などが進んだことにより、子育てを取り巻く環境は大きく変化し、行政と地域社会で子育て世帯を支えていく必要性が一層高まっている。

そこで現在、待機児童は何人おり、何歳児に対する保育が不足しているのか。また、それに対する改善策をどう考えているのか。

### 答

待機児童の人数は、4月は希望者全員の受け入れができていま

したが、6月1日現在では3歳児から5歳児の待機児童はないものの、0歳児5人、1歳児3人、2歳児1人の計9人の待機児童が発生している状況で、0歳児から2歳児に対する保育が不足していると認識しています。これは近年の核家族化や働き方の変化により、保育所を利用される子供の低年齢化が進んだことと、保育士不足によるものと考えています。

これらを改善するためには、引き続き保育士の確保に努めるとともに幼稚園の認定こども園化により、保育の必要な3歳児から5歳児を受け入れることで、保育所での0歳児から2歳児の受け入れ枠を確保できるように検討を進めているところです。